夕刊 常磐毎日
発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 電話1210番
印刷兼発行人 吉田 開

…夏家具…
…かや…
…庫…冷蔵…
◇各種寝具◇
の店 ㊧ あるが
平銀座電223番

頼みの井戸も使用禁止
生徒は水筒さげて登校
三中の騒動 なる水うのどの中

水道施設のない平三中校では、生徒たちは毎日空ビンや水筒に飲料水をつめて登校、体操の済んだあとなどプールで足を洗い、校内にたった一つあった井戸も、汚いから飲んではいけないと保健所から禁止されてしまい、元気盛りな子供たちは、一日も早く水道をひいて下さいと訴え出て、伝染病多発期を控えて学校当局及びPTAがとのまゝでは放任出来ないと大騒ぎしている。

学校、父兄は大騒ぎ
起債で逃げる市当局

平三中は二十五年四月新築され同六月から生徒約八百十三名（現在数）を以つて開校されたものだが開校以来から水道の設備がなく三十二尺の井戸を掘つて飲料水、手洗、足洗とすべてに使用してきた、学校当局としても一日最低約十余石の水を必要とする現状から井戸水の吸上量約七石ではどうしても間に合わず応急策として一日十石の水を消防署の消防ポンプで運んでもらつて急場をしのいでいたものが。

去月十八日保健所が水質検査を行つた結果「汚い上に人体には有害な硬度水であるから使用罷りならぬ」との強いお達しに学校当局は勿論全生徒八百十八名は食事前や体操後の手足洗いなどの水不足に悲鳴をあげ、学校では雨の降つた日には道が悪い関係から消防ポンプも不可能となるので全生徒に「水筒持参励行」を指令、その苦肉の策を実施するの窮地に至つたものである。

これに対して市当局は市内鎌田山の上水道が完成次第着工するが水道の配工管工事費三百万円の起債の許可がおりない限りはどうにもならないと弁解している。

菱沼三中校長談

「再三陳情しているがこれから伝染病の多発期に入るので心配は並大低ではない、現在では使用必要量（五十石）に応援量を合はせて十七余石ではどうにもならず、更に井戸水使用禁止となつては先が安じられ全く困つています。

戸沢PTA副会長談

「市当局では工事費が全然なく起債がどうのこうのと言つて逃げているが二小、一中などでは三千五百万の増築をしてるではないか、水を飲まずにいても…、赤痢が発生しても増築が先であつていゝのだ、と言いたいです。」

平保健所談

「三中の飲料水は検査の結果総硬度が相当強く飲料水としては体に有害なので使用を禁止したまでだが、困つている昼中衛生上已むをえないと。」

会長に鈴木喜吉氏
内郷町商工会 市制祝賀など協議

内郷町商工会（会長鈴木喜吉氏）では二十二日午後二時から浅野記念館で総会を開催、二十八年度事業計画と次の年間行事などを審議したのち役員の改選を行い、会長には鈴木喜吉氏、副会長には恵原狩和男、大滝九三助、高橋常松の三氏をそれぞれ再選した主なる年間行事は

◇七一八月市制施行祝賀行事◇夏季夜店の開催◇中元大売出し◇七夕コンクールの実施◇お盆祭り◇商店街の診断◇各支部対抗野球大会◇不景気突破大売出し◇年末年始大売出し◇旧年末年始大売出し◇花まつり◇優良商店街の視察。

なお二十六日第一回幹部会を開催不景気対策と市制祝賀行事について協議する。

長谷川市教育長談

「新築当時は井戸水の使用で十分間に合うと思つていたがこうなつてはとり敢えず夏には水そを増築し市当局にも早急に水道配工管の工事を進める事に極力努力する」

大塚水道課長談

「配工管施設工事費として二十九年予算に三百万円を計上し申請中である、だが簡易水道式に関しての設備条件が面倒になつている現在はどうしても許可にならないと思うから先ず水タンクの設備を急ぎ間に合はせてもらう考えでいる

蒲生の一味 二名検挙

平市署では先に覚せい剤取締法違反現行犯で逮捕した蒲生正利の自供からそのグループと思はれる磐城市大字泉字上谷地三四無職徳山こと洪順玉（三）と同市蛭川南七七下宿門馬又は岡垣こと大野セキ（四）の両名を二十三日午前八時ころ覚せい剤取締法違反の疑いにより夫々自宅で逮捕した。

ラジオ技術者試験

仙台逓信局では八月二十五日にラヂオ受信機修理技術者の試験を実施することになつた、

主なる必要事項は次の通り

◇受験案内書及願書は十円切手同封の上県商工課内電波技術協会出張所、又は仙台市柳町仙台逓信局内財団法人電波技術協会仙台支部宛に申し込むこと、尚書類提出期日は六月十五日から二十五日迄、◇試験地は郡山市安積女子高校内、◇提出には願書のほか履歴書一通、顔写真で六ケ月以内の名刺判一枚に受験料四百円）為替にても可）を添え申し込むこと、◇発表は十月六日となつている。

梅香保育所竣工式

過般立派に完成をみた市内梅ケ町〝梅香保育園〟の竣工落成式は、廿三日午前十一時から来賓多数臨席、諸種市長以下関係者が集つて盛大に挙行された

東北アンプル工場でボヤ

二十三日午前十一時五分ころ平市小太郎町東北アンプル第二工場（工場長鈴木晃平氏）倉庫から出火したが木毛少量を焼いただけで消し止めた、原因について平市署で調べているが二、三日内に窃盗団の手入れを行うことになつた。

砲金ドロ

好間村中好間字半哲沢吉河好間炭鉱鉱鍛冶工平井春次（三九）は昨年十二月ころから今年四月ころにかけて同炭鉱機械工場から約百回にわたつて砲金二百五十貫、鋼四十一貫など時価十二万円相当を盗んでいた疑いで検挙取調べ中だつたが二十三日平地区署から身柄送検された。

平地区署 一名検挙

平地区署は二十日四倉町小野渠（三）を窃盗容疑で逮捕、昨年四月ころから四倉町を中心にひんぴんと発生している伝馬船をはじめ船、材木泥、商店荒しの有力な犯人とみて大内捜査係長の手で追求していたが、二十一日に至り同町の不良を中心とした窃団窃盗団のあることが判り、二十二日から被害者など参考人を呼んで事情を聴取、しようこがためを行つているが二、三日内に窃盗団の手入れを行うことになつた。

四倉に 窃盗団

16少女に売春 好間村中好間カフエー「昭和バー」など

また同署では二十二日好間村中好間カフエー「昭和バー」こと佐々寿（四）を児童福祉法、労基法違反で書類送検した。

佐々は炭俵を失職して生活に窮していた同村某の娘（二）を昨年

少女と人妻を飲む
植田署 悪質周旋屋検挙

中小炭俵の不況につけ込んで悪質な人身売買ブローカーの徹底取締に乗り出していたが、二十日川部村の上水道が完成次第着工するが水道の配工管工事費三百万円の起債の許可がおりない限りはどうにもならないと弁解している。

菱沼三中校長談

「再三陳情しているがこれから伝染病の多発期に入るので心配は並大低ではない、現在では使用必要量（五十石）に応援量を合はせて十七余石ではどうにもならず、更に井戸水使用禁止となつては先が安じられ全く困つています。

戸沢PTA副会長談

「市当局では工事費が全然なく起債がどうのこうのと言つて逃げているが二小、一中などでは三千五百万の増築をしてるではないか、水を飲まずにいても…、赤痢が発生しても増築が先であつていゝのだ、と言いたいです。」

平保健所談

「三中の飲料水は検査の結果総硬度が相当強く飲料水としては体に有害なので使用を禁止したまでだが、困つている昼中衛生上已むをえないと。」

会長に鈴木喜吉氏
内郷町商工会 市制祝賀など協議

内郷町商工会（会長鈴木喜吉氏）では二十二日午後二時から浅野記念館で総会を開催、二十八年度事業計画と次の年間行事などを審議したのち役員の改選を行い、会長には鈴木喜吉氏、副会長には恵原狩和男、大滝九三助、高橋常松の三氏をそれぞれ再選した主なる年間行事は

長谷川市教育長談

「新築当時は井戸水の使用で十分間に合うと思つていたがこうなつてはとり敢えず夏には水そを増築し市当局にも早急に水道配工管の工事を進める事に極力努力する」

大塚水道課長談

「配工管施設工事費として二十九年予算に三百万円を計上し申請中である、だが簡易水道式に関しての設備条件が面倒になつている現在はどうしても許可にならないと思うから先ず水タンクの設備を急ぎ間に合はせてもらう考えでいる

蒲生の一味 二名検挙

平市署では先に覚せい剤取締法違反現行犯で逮捕した蒲生正利の自供からそのグループと思はれる磐城市大字泉字上谷地三四無職徳山こと洪順玉（三）と同市蛭川南七七下宿門馬又は岡垣こと大野セキ（四）の両名を二十三日午前八時ころ覚せい剤取締法違反の疑いにより夫々自宅で逮捕した。

ラジオ技術者試験

仙台逓信局では八月二十五日にラヂオ受信機修理技術者の試験を実施することになつた、

主なる必要事項は次の通り

◇受験案内書及願書は十円切手同封の上県商工課内電波技術協会出張所、又は仙台市柳町仙台逓信局内財団法人電波技術協会仙台支部宛に申し込むこと、尚書類提出期日は六月十五日から二十五日迄、◇試験地は郡山市安積女子高校内、◇提出には願書のほか履歴書一通、顔写真で六ケ月以内の名刺判一枚に受験料四百円）為替にても可）を添え申し込むこと、◇発表は十月六日となつている。

梅香保育所竣工式

過般立派に完成をみた市内梅ケ町〝梅香保育園〟の竣工落成式は、廿三日午前十一時から来賓多数臨席、諸種市長以下関係者が集つて盛大に挙行された

東北アンプル工場でボヤ

二十三日午前十一時五分ころ平市小太郎町東北アンプル第二工場（工場長鈴木晃平氏）倉庫から出火したが木毛少量を焼いただけで消し止めた、原因について平市署で調べているが二、三日内に窃盗団の手入れを行うことになつた。

砲金ドロ

好間村中好間字半哲沢吉河好間炭鉱鉱鍛冶工平井春次（三九）は昨年十二月ころから今年四月ころにかけて同炭鉱機械工場から約百回にわたつて砲金二百五十貫、鋼四十一貫など時価十二万円相当を盗んでいた疑いで検挙取調べ中だつたが二十三日平地区署から身柄送検された。

平地区署 一名検挙

平地区署は二十日四倉町小野渠（三）を窃盗容疑で逮捕、昨年四月ころから四倉町を中心にひんぴんと発生している伝馬船をはじめ船、材木泥、商店荒しの有力な犯人とみて大内捜査係長の手で追求していたが、二十一日に至り同町の不良を中心とした窃団窃盗団のあることが判り、二十二日から被害者など参考人を呼んで事情を聴取、しようこがためを行つているが二、三日内に窃盗団の手入れを行うことになつた。

16少女に売春 好間村中好間カフエー「昭和バー」など

また同署では二十二日好間村中好間カフエー「昭和バー」こと佐々寿（四）を児童福祉法、労基法違反で書類送検した。

佐々は炭俵を失職して生活に窮していた同村某の娘（二）を昨年

女と人妻を飲む
植田署 悪質周旋屋検挙

中小炭俵の不況につけ込んで悪質な人身売買ブローカーの徹底取締に乗り出していたが、二十日川部村の上水道が完成次第着工するが水道の配工管工事費三百万円の起債の許可がおりない限りはどうにもならないと弁解している。

菱沼三中校長談

「再三陳情しているがこれから伝

セメント十三袋盗む

常磐市湯本字三函興行主内田明蔵（三）は去る五月十日午后八時ころ同市湯本字宝満地内の磐崎鉱引込線資材倉庫からセメント十三袋時価五千円相当を盗んだ疑いで二十二日湯本地区署に逮捕された。

同署ではさらに無銭飲食一件もあるものとみて目下追求中。

社告

最近本社宛に「こども新聞社」ですかという電話が盛んにかゝつて来て迷惑しておりますが、「こども新聞社」というのは当社とは何らの関係もありませんから御知らせ致します、尚当社の電話番号は（平）一二一〇番です。

常磐毎日新聞社

常磐毎日新聞

天氣予報

（明日）北よりの風、やゝ強くなりがちからはじめにわか雨のところもありますが、のち晴れて来ましよう。

（海上）今晩から明日にかけて風波立ちシケ模様となりますから漁船は注意を要しましよう。

出生 死亡 届出

廿二日出生＝杉平三ノ六銀行員吉田一郎さん次男康之ちゃん、胡摩沢五九国鉄職員菊田助治さん長女さゆりちゃん。

近代のお飲物
オレンジジュース
眼鏡専門店 •レフラクト、•メーター設備 松本 平市一丁目26 電1851
財団法人 松村病院 平市南町 電一〇七番（受付事務）一六九六番（第二病室）一八九二番（事務専用）
外科 整形外科 性病科 院長 松村亨
内科 胃腸 呼吸器科 主任 岡崎仁
婦人科 主任 松村政次
歯科 〃 吉田吉之助
放射線科 主任 新妻春治
薬局 主任 山ナヨ
御好評の 中野洋品店 平二電五三
慢性自味 江戸前割烹小料理 ◇仕出し承ります◇ 和洋食 特製支那そば ◇出前迅速◇ 求料理見習 16才…20才位 やかや 才route小路電395

質疑応答

問＝市になれば工場誘致するというが現在の町では誘致出来ないかまた工場誘致の具体案はどうか。

答＝工場誘致は立地条件が先づ第一である、何をするにも予算であることは再三申し上げている通りである。町に交付される予算と市に交付される予算とでは大きな差がある。しかし、市になったからといってあしたにも工場を誘致するかと問われるだろうがそれはむつかしい、先づ市の予算で工場誘致の立地条件をつくることだ。

問＝町当局で市になろうとする構想はいつ頃からあったか。

答＝二十二年三月産業都市計画が告知されたが、これはあくまで合併による市の実現であった高野、箕輪村を合わせようと町長が交渉したが高野は交渉が長びき、箕輪は内紛をおこしている。市になるのには五万以上という法規改正がおくれたので単独で市になる結論におちついた。

問＝市制について炭砿側が反対したというが、理由は何か。

答＝会社議員が反対したのではないが、反対した人の理由は時期尚早であった。

問＝人口が減る臭いがするが、もし減った場合を考えているか。

答＝三万七千から三万八千に増え四万になる日も遠くはなく人口は減つていない。

問＝市になれば福祉事務所が設置する、職員は現在の福祉課の人員移行で充分やつていける自信をもつている。

問＝二中の問題であるが学校は町校庭は借地であると聞くが、いつまでもこのままか。

答＝現在は会社からの借地であり支出にしても町は出していないが何とか話をして町のものとしたい

問＝同校で体育の時間にズリ運びをさせられ、服がよごれて仕方がないと度々苦情をきくが、町がみとめているのか。

答＝その様な事実があれば教育委員会へ連絡してよく事情を調べてもらう。

問＝昨年秋、三森二中校長が二十九年六月に着工し二十九年度中には完成すると言つた校舎新築問題について。

答＝予算のズレから仕方がなかつたようだ、しかし次年度におくることは出来ないので八月ころ取りかゝる予定である。（終）

会の聴くを町政

青年会代宮町内郷催主（下）

小島地區は内郷の寶庫

"みなや"には大温泉郷

問＝小島、御まや、御台場が内郷から分離して、平に合併するという話があるが。

答＝それは聞かぬ話ではないがはつきりしたところはつかんでいない、小島方部は内郷の都市計画の第一線であり平につかせることは考えない、発展地域の一環として市制を施行する。

問＝都市計画による区劃整理、工場誘致、道路整備などで職牲になる人はないか、あればその補償方を問う。

答＝最少限度の職牲で出来る市の発展を考案中であるから皆無になるということはない、補償については最後まで面倒をみることになつている。

問＝御まやの湯について。

答＝平がほしがつているのも結局湯であろうと考えられるが自分の土地の財産を投げ出すものはないあそこに温泉街という楽もあるが山を利用した温泉街を計画している。

問＝常磐炭砿の炭層最下層に、ガイノメというガラスの原料があるがガラス不足の日本にとつてもガラス工場が出来るではないか。

答＝外国に輸出する優秀な生産工場を誘致したい、勿論ガラス工場も含まれていると思う。

また高野から出る石は現在鉄道で使用している枕木の下に敷くものでこれも発展に大いに役立つと思う。

問＝市になると税金が高くなるというが

答＝税金は法律によつてきめられているので、市になつたからといつて余計取ることは絶対ない。

問＝宮入口の踏切りをどう考へるか。

答＝踏橋にしようとする案が出たが、都市計画上必要かどうか疑問である。

線路に沿つた新計画道路に高坂鉱殿踏線を合わせる外三つの道路新設を計画中である。

問＝市になれば福祉事務所の設置並に同所職員が必要と思うが。

答＝福祉事務所は設置する、職員は現在の福祉課の人員移行で充分やつていける自信をもつている。

問＝二中の問題であるが学校は町校庭は借地であると聞くが、いつまでもこのまゝか。

答＝現在は会社からの借地であり支出にしても町は出していないが何とか話をして町のものとしたい

問＝同校で体育の時間にズリ運びをさせられ、服がよごれて仕方がないと度々苦情をきくが、町がみとめているのか。

答＝その様な事実があれば教育委員会へ連絡してよく事情を調べてもらう。

問＝昨年秋、三森二中校長が二十九年六月に着工し二十九年度中には完成すると言つた校舎新築問題について。

答＝予算のズレから仕方がなかつたようだ、しかし次年度におくることは出来ないので八月ころ取りかゝる予定である。（終）

優勝杯をめがけて

内郷宮 少年野球大會

少年指導の一環としてスポーツ精神をかん養し非行少年の防止を図るため、内郷2町公民館主催、本社後援の7日優勝杯、準優勝タテ争奪大学宮各部落館合同少年親善野球大会は廿七日午前八時から同町金坂グラウンドに十部落館の少年チームが参加しA、Bに別れて若人の熱戦が繰り展げられるが、盛会が予想される。

▽優勝チームには町長、議長及び宮方部選出七町議から寄贈の優勝杯、▽準優勝チームには常磐毎日寄贈の優勝タテが授与されるほかホームラン賞、打撃賞美技賞、敢斗賞、殊勲賞、参加賞など殆りたくさんの賞品が授与される。

結婚簡素化運動

7月から 常磐市婦人会

常磐市婦人会の常任委員会は二十一日午后一時から湯本公民館で生活改善の一環として結婚簡素化の運動を七月から促進することを決め、六、七月行事を次の通り決定した。

▽料理講習会二十三日傾城分館二十四日湯本公民館、二十五日米田矢吹氏宅、講師は県生活改善課技師、▽常磐市婦人会連絡協議会七月十日。

労使の安協成る

大昭炭砿 月給がもらえないから生活保護を適用して来れと山田村役場を通じて石城福祉事務所に泣込んで来た同村大昭炭砿従業員四百三名の実状を重視した平労基署では調査を行う一方労使双方の代表を招いて話合い、さらに村当局にも同村の死活問題だからなんとか対策を講ずるよう要望していたが、このほど平労基署の斡旋で話がまとまり会社側は会社建直のため自然退職をつのつて企業の合理化を図る、約一割近くの給与引下げを行う（但し給料の遅配は来月までに解決する）との二提案を出され組合も大局的立場から会社側の提案を受けることに決め、開店休業の状態になつていた同砿は二十日から作業を開始した。

なお同村も大昭炭砿は村の運命を左右する問題であるとして近く村議会をひらき、審議するが大昭炭砿に若干の融資を行い、会社建直に協力する模様。

恐しいポン 講演と幻燈会

常磐市湯本台の山区では二十三日午后六時から台の山倶楽部で「水爆より恐しいヒロポンの悪力」の講演、並に幻燈会を開く、講師には湯本病院長鈴木茂彦氏ほか二氏が予定されている。

巡回文庫作成 湯本公民館

常磐市湯本公民館の敎養図書部会は二十三日午后六時半から同館で開き、運営方針及年間行事計画について協議する。

なお図書部ではこのほど予算十万円を計上して四百冊の図書を購入したので、図書整理を行い市民に巡回文庫を作成することになつた。

天位に吉田(社)氏

第三回都々逸研究会

第三回常磐都々逸研究会は二十一日午後七時から、同市三函白石利平氏宅で開き、互選により次の入選を決定した、席順は「団扇」

▽天位　吉田　甫

三味線ひく手を団扇にかえて　口説き上手が口説かれた

▽地位　白石　利平

ほれてしまえば私の負けよ　世帯苦労の跡団扇

▽人位　保積　寅治

団扇片手にひじかけ窓で　虫の音を聞く夕涼み

▽五客　阿部　嘉央

世帯をためて二歳三月　やつれも同じ渋団扇　根本　辰秋

立ちつすわりつ待つ夜は長い　やけにあおるか古団扇　松の家小春

団扇片手に坊やをつれて　涼みがてらの御縁日　〃

昔郎寝ましようと団扇をはなし　足もしびれる膝まくら　保積　寅治

団扇の風についさそわれて　孫の手を引きほたる狩り

入選句の発表を終り午後九時半盛会裡に散会した。

六人組強盗団を検挙

小名浜署、團員は皆ポン患

最近警域市内にひんぴんと発生する窃盗事件を内偵中の小名浜地区署は去る十三日窃盗容疑で逮捕した岡市定西無職青木三五(三〇)の自供で、ヒロポン患者で出来た集団窃盗団のあることが判り、二十一日早朝一味の根城である岡市下町無職安島二郎(三七)方を急襲、共犯織、清水の指揮で今年三月から六月中旬まで、岡市定西煙草商小野大義さん方の店舗からピースなど三味線ひく手を団扇にかえて

ヒロポン代ほしさから窃盗団を組織、清水の指揮で今年三月から六月中旬まで、岡市定西煙草商小野大義さん方の店舗からピースなど無職阿部信一(三〇)の浜名を逮捕した、逮捕された六名はヒロポン患者で

商議所を設置

湯本商工会で決議

常磐市湯本商工会の総会は二十一日午后一時から湯本公民館で開き市商工会議所設置問題について協議した結果、満場一致で設立を決定吉田商工会長ほか七十二名の発起人をきめ、昇格するために必要な資料を集めることになつた

十日分の夏季手当要求

常磐市自労組

常磐市湯本自由労組では今月始めころから磐崎地区自由労組と職場会議をやつてきたが、二十六日市に対して次の要求書を提出することになつた。

▽夏季手当賞金の十日分、▽お盆有給二日、▽七、八月の完全就労、▽首切り反対の四項目。

内郷の赤痢予防行事

内郷町教委では二十二日午前九時から内町小校で臨時教育委員会を開き、赤痢予防週間の運動実施について協議した結果、▽各学校毎に学供衛生班を編成して実践教育を行う、▽手洗設備の完備、手洗の励行、▽便所の改善、給食施設不良箇所の改善及ハエとウジにDDTを撒布しての駆除、▽家庭通信を行い衛生思想の普及など四項目に重点をおき、二十四日から三十日まで運動を展開することになつた。

一町目 質山田

ポン代慾しさから 五十件、二百万の盗み

なお犯行の際にはガラス切りなどを利用している点から最近平市内に続発しているタバコ屋荒しも同人らの仕業ではないかと見て平市署で小名浜地区にしよう介している。

煙草三万円相当をはじめ煙草、呉服店を専門に荒し、五十件、百九十八万円にのぼる盗みをしていたもの。

今週の映画

23日ヨリ29日マデ		
平劇場	夜の部（七、〇〇）	マンガ夏祭り落語長屋
	十代の秘密	
世界館	夜の部（七、〇五）	少年登三四郎
	黄金街の男	
民座	夜の部（七、〇五）	風流あじろ笠
	地獄への退却	
ひかり館	夜の部（七、〇〇）	ママの新婚旅行
	腰抜け狂騒曲	

記念賞50万円たのしみをのせて
『23回』常陽幸運期定
1口 1000円 幸運賞 10万円
常陽銀行
平支店平市二丁目 ㊟代表30番

割烹 滝沢 潤月 平電一〇七三

オート三輪にはねらる

二十二日午後一時十分ころ好間村中好間字田中地内国道で友達と遊んでいた同地内、土工松本綾昭さん長男忠行ちゃん(五)は平から三阪村にむけて走つて来た田村郡船引町十一田中運送業羽場愛二さん所有のオート三輪車＝運転手高萩健二郎(二八)にハネられ顔面その他に全治三週間の裂傷を負つた。

正直たわし 他品に負けぬ 便い良い 高砂ほーき

整形外科 内外科 レントゲン科 理学診療科
医療法人 竹林病院 平市五町目鎌八正番地 ㊟五〇八
院長 竹林貞吉
医長 中川増郎
医員 永山徳二
薬剤師 永山洋子

石炭は常磐炭礦
夏向に煙突掃除のいらない 煙の少ない 火力の強い 徳用石炭
電話三七番へ 一俵より御届いたします
平市田町 常磐炭礦販売KK

生ビール 一番 常磐市湯本三函 電一五三

平の名物 アイススマック 一ケ 二十円
映画にお土産にスポーツに最適
不二屋のソフトクリーム 一年中販売致しております
不二屋 電886 1,750

有楽座 永久無色 東京画房